

地区福祉のまち推進センター「コーディネート機能強化事業」

地区福祉のまち推進センターにおけるコーディネートを考える講座

— 全体講座（2回目）開催要綱 —

1 趣 旨（概要）

福祉のまち推進事業が昨年度で開始から20年経過しました。

今では、福まち活動に携わってきた関係者の皆様のご理解ご尽力が実を結び、札幌市の地域福祉を支える柱として、見守り・訪問活動をはじめとした市民相互の助け合いが大きな広がりを見せています。

こうした中、全国的に急速に進む少子高齢化、核家族化、単身化の進行、さらには、近隣関係の希薄化は本市においても例外ではなく、これに伴って何らかの支援を必要とする市民が増加しています。また、支援を拒む世帯や、近隣とトラブルを抱える世帯の出現など、市民の困りごとやニーズは多様化・複雑化する傾向を見せており、地域住民の理解と支援を必要とする世帯が、今後ますます増加していくと考えられます。

そこで本講座は、地域の現状と20年におよぶ福まち活動の実績を踏まえ、これからの福まちに必要とされる役割として、活動にかかわる様々な調整機能（コーディネート力）が必要・重要となっていくことについて、多くの福まち関係者が理解と共通認識を高めるために、以下のとおり開催いたします。

2 主 催 各区社会福祉協議会・札幌市社会福祉協議会

3 日 時 平成29年1月11日（水）9：30～12：10 [2時間40分]
(参加者の受付は9：00～ 会場入口前)

4 場 所 札幌市社会福祉総合センター・4階（大研修室）
(札幌市中央区大通西19丁目1-1)

5 参加対象・人数

- (1) 対 象 : 区別講座（1回目）を受講された各種調整業務にかかわる実務者
※（地域住民（町内会等の関係者・要援護者）や、福祉の専門機関・団体施設等からの情報提供や相談を受ける立場にある方、または、今後受ける予定にある方）
※（地区福まちセンター事務局長・事務局員・部会員・相談員等を想定）

(2) 人数（定員）：各地区2名（全体で約200名を予定）

6 内 容

- (1) 開会挨拶（日程説明）：札幌市社会福祉協議会 地域福祉部長（10分）
- (2) シンポジウム「地区福まちにおけるコーディネート機能～実践例の発表～」(80分)
 - ① シンポジスト（実践発表） 北野地区福祉のまち推進センター 運営委員長 一瀬 ヒロ 氏
 - ② シンポジスト（実践発表） 八軒中央地区福祉のまち推進センター 事務局長 野島 紀子 氏
 - ③ コーディネーター 札幌市社会福祉協議会 地域福祉課長 柏 浩文

- 1) コーディネーターより紹介・説明（15分）
 - ・シンポジウムの趣旨・流れの説明とシンポジスト紹介
 - ・区別講座の振返り「これからの福まちに必要とされる役割（コーディネート機能）について」
 - 2) シンポジスト2名からの実践発表
 - 「地区福まちにかかわるコーディネート機能（調整力）の実践について」（60分）
 - 3) シンポジウムのまとめ（5分）
- (3) 休 憩（10分）
- (4) 情報・意見交換「福まちのコーディネート（調整）機能について」（50分）
 - ※（情報・意見交換は小グループ（10名以内）に分かれて実施）
- (5) グループ発表（5分）
- (6) 講座全体のまとめ（総評）：札幌市社会福祉協議会 地域福祉部長（5分）
- (7) 閉 会